

| | | | | |
|------------------------------|----------------------|-----------------|------------------|--|
| 専門ゼミ A (税理士養成クラス) | | 演習 | 教授 田地野 幹雄 | |
| 科目カテゴリー | 国税ビジネス学科の必修科目 | 科目ナンバリング | 21300301 | |

1. テーマ

税理士に求められる幅広い税法知識の修得

2. ゼミのねらい・概要

税理士として活躍するために必要とされる幅広い税法知識の修得をねらいとする。本ゼミでは、租税法を学修するだけでなく、現代に惹起するさまざまな税務問題についても討議する。

3. ゼミ計画

ゼミ計画は、以下のとおりとするが、ゼミメンバーの問題意識や関心・興味等を見極めながら、適宜見直しを図る。

| | |
|-------------------------|----------------|
| 1. ガイダンス (租税の概要) | 9. 相続税 |
| 2. 租税法の基本原則と地方税 | 10. 贈与税 |
| 3. 租税法の解釈と租税の賦課・徴収 | 11. 固定資産税等 |
| 4. 納税者の権利救済と租税犯 | 12. 消費税 |
| 5. 所得税法 (納税義務者・所得の種類など) | 13. 関税及びその他の租税 |
| 6. 所得税法 (課税標準・申告など) | 14. 国際課税 |
| 7. 法人税法 (納税義務者・所得の計算など) | 15. まとめ |
| 8. 法人税法 (別段の定め・税額の計算など) | |

4. 準備学修 (予習・復習等) の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回ゼミの際に指示する課題について、次回のゼミまでに必ず取り組んでおくこと。この準備学修には2時間程度必要である。

5. 課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックの方法

課題についての口頭発表の際、個別に講評 (不足している点や今後取り組むべき点など) をコメントする。

6. ゼミにおける学修の到達目標

租税法を幅広く理解し、租税に関する問題点を把握できる。

7. 成績評価の方法・基準

ゼミに対する取り組み姿勢 (60%) および課題についての発表内容 (40%)。

8. テキスト・参考文献

テキストは、次のとおり。また、適宜プリント等の参考資料を配付する。

八ツ尾順一著『図解 租税法ノート (最新版)』清文社

9. 受講上の留意事項

ゼミに積極的に参加していく姿勢を期待する。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本ゼミは、国税庁における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。